

# 1 番星 以 特別号



## 一米・加最前線レポート

# 「ドル100円時代は来るか!」 所長 長沼隆夫

この度9月16日より9月24日まで、8泊9日（夜間飛行と時差の関係で、ホテル泊は7泊）のアメリカ西海岸及びカナダ（ロスアンゼルス、サンフランシスコ、バンクーバー）へのMAS研修旅行に行かせて頂きました。MAS研修とは、会計事務所が、いかにお客様に経営助言、経営指導をするのかマネジメント・アドバイザー・サービス（Management Advisory Service）の視察です。3つの会計事務所と1つの企業訪問でしたが、MASについては、今、私共が手掛けようとしている経営助言、経営指導、赤字対策、事業計画、経営計画をより充実、拡大すれば、方向として間違っていない事を確信できたような次第です。

アメリカ社会の契約主義、目的重視、ギブ、アンド、テイクの基本的な考え方、日本の信頼関係に基く、ナーナー、マアーマア主義、曖昧性というのを随所に感じましたが、サンフランシスコで、例のケーブルに乗る時、自動販売機の切符を買う#が、自動販売機には入らないのです。日本で、①金を入れる ②切符の値段のボタンを押す。③釣銭をもらうの順番ですが、サンフランシスコは、①と②の順番が逆様になっている。これも契約主義、行動への過程から来る問題ではないだろうか。

国際協調、円とドルの問題について考えると、円はまだ高くなる。1\$100円、130円の時代が来ると思います。先日も1\$130円と言う話を聞きましたが、現在の150～160円で安定という記事も見ます。これも願望から来る見方ではないでしょうか。

国際協調がさかんに言われています。協調とは、「利害対立のあるものが、相互に協力して努力すること」とあります。ハイテク、車の輸出を続けるには、広大な土地から生まれる農産物、肉の輸入と、そして、稼いだ金での軍備への協力、負担が求められるでしょう。日本が、力をつけている。そして、これからはもつけづけるほど、これらの問題は、さけて通れないのではないのでしょうか。

1\$100～130円になる。輸出規制は、される、農産物の輸入促進は求められる。軍備への協力が要請されるのを前提にして、経営をすべきではないのでしょうか。

